

都市再生整備計画 事後評価シート
敷島中心拠点地区
(地方都市リノベーション事業)

平成29年2月

山梨県甲斐市

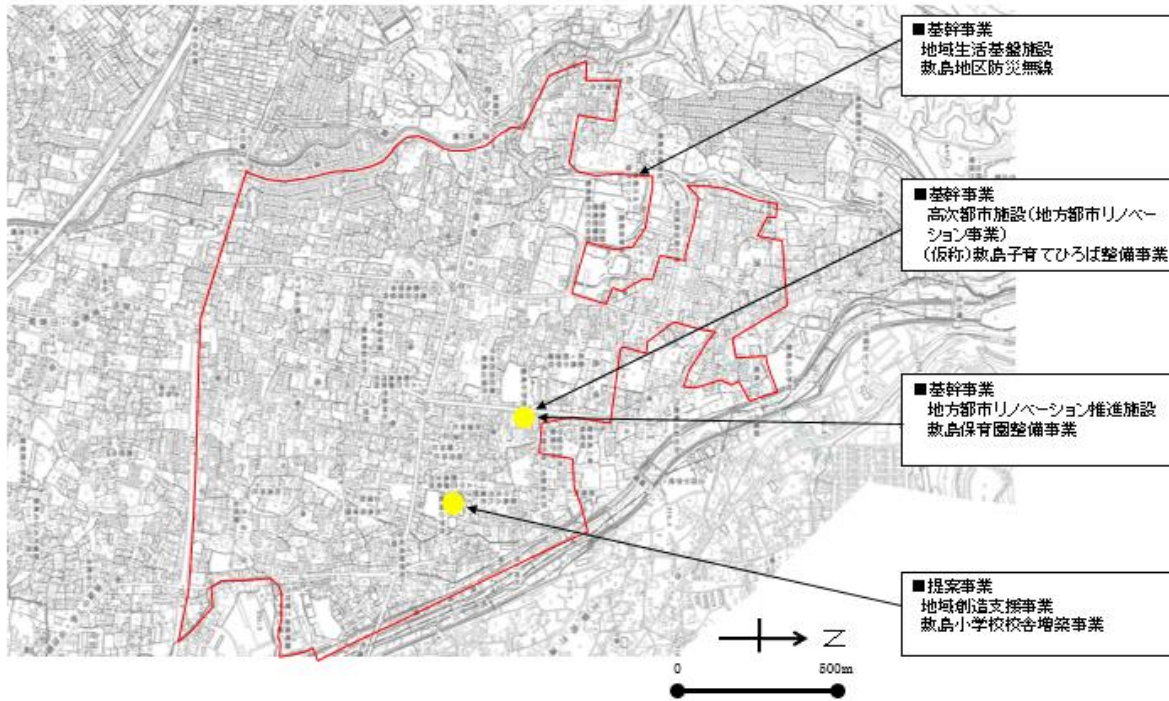
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山梨県		市町村名	甲斐市		地区名	敷島中心拠点地区			面積	197ha	
交付期間	平成24年度～平成25年度		事後評価実施時期			交付対象事業費	575百万円	国費率	0.480			
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(敷島地区防災無線)、高次都市施設(地方都市リノベーション事業)((仮称)敷島子育てひろば)、地方都市リノベーション推進施設(敷島保育園)									
		提案事業	地域創造支援事業(敷島小学校校舎増築事業)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地方都市リノベーション推進施設(松島保育園)	削除/追加の理由		民間活力を生かした整備手法に変更するため						
		提案事業	-	-		-						
	新たに追加した事業	基幹事業	-	-		-						
		提案事業	-	-		-						
交付期間の変更	当初	平成24年～平成26年	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		松島保育園整備事業の追加に伴い、交付期間を「平成24年～平成26年」から「平成24年～平成28年」に、同事業の削除に伴い、交付期間を「平成24年～平成25年」へ再度変更した。また、指標・目標値を当初計画の松島保育園追加前に修正した。							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	保育園の園児数	人/年	130	H24	139	H25	144	○	あり	敷島保育園の整備により、園児の受入可能数が増加し目標を達成した。保育園の利便性の向上が図られたことにより、中心市街地の魅力が向上している。	-
	指標2	子育てひろば・ファミリーサポートセンターの利用者数	人/年	870	H24	2,900	H25	5,566	○	あり	敷島子育てひろば・ファミリーサポートセンターの整備により利用者数が増加し目標を達成した。コンパクトなまちづくりに向けた都市機能の整備が進んでいる。	-
	指標3									あり		
	指標4									あり		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
その他の数値指標1												
4)定性的な効果発現状況	-											
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	・審議会委員等の住民公募 ・パブリックコメントの実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○	各種審議会委員への市民参加の公募をし、協働によるまちづくりを推進する。 市民が意見や提言を行うことができる公聴制度の充実を図る。		
	持続的なまちづくり体制の構築	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

敷島中心拠点地区(山梨県甲斐市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 人が安心、安全に暮らし、活気あふれるまちづくりの推進	保育園の園児数	単位:人/年	130	H24	139	H25	144	H28
目標1 安全で快適に暮らせるまちづくり	子育てひろば・ファミリーサポートセンターの利用者数	単位:%	870	H24	2,900	H25	5,566	H28
目標2 活気にあふれるまちづくり								
目標3 心豊かで文化のかおるまちづくり								



まちの課題の変化

・今後老朽化が進行する公共施設に関しては、現在策定中の公共施設等総合管理計画による維持管理を行い、経費節減を図りながら都市機能の存続を図っていく必要がある。

今後のまちづくりの方策
(改善策を含む)

・地区内の公共施設について、指定管理者制度の導入により、民間活力による特色あるまちづくりを推進し、中心拠点地区の都市機能の充実を図る。
・公共施設等総合管理計画の策定を推進する。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標	●		保育園の園児数、子育てひろば・ファミリーサポートセンターの利用者数、子育て支援への満足度	保育園の園児数、子育てひろば・ファミリーサポートセンターの利用者数	松島保育園整備事業の削除に伴う変更
C. 目標値	●		目標年度：平成28年	目標年度：平成25年度	途中で交付期間を「平成24年度～平成26年度」から「平成24年度～平成28年度」へ延長したが、松島保育園整備事業の削除に伴い「平成24年度～平成25年度」に変更
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路(地方都市リノベーション事業)									
道路(地方都市リノベーション事業)									
道路									
道路									
地域生活基盤施設	敷島地区防災行政無線	18		18		変更なし	影響なし	○	
高次都市施設(地方都市リノベーション施設)	(仮称)敷島子育てひろば	70	200㎡	70	200㎡	変更なし	影響なし	○	
地方都市リノベーション推進施設	敷島保育園	369	3,300㎡	369	3,300㎡	変更なし	影響なし	○	
地方都市リノベーション推進施設	松島保育園	527 (H26年3月追加)	3,500㎡ (H26年3月追加)	0	0㎡	整備方針の変更に伴う削除	・指標1「保育園の園児数」に影響があるため、松島保育園整備事業追加前の目標値へ修正する。 ・松島保育園整備事業の追加に伴い設定した「子育て支援への満足度」については削除。		
生活拠点施設									
既存建造物活用事業(地方都市リノベーション事業)									
市街地再開発事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	目標年度	モニタリング	事後評価	数値	モニタリング	事後評価	あり	なし	
指標1	保育園の園児数	人/年	平成26年3月31日現在の敷島保育園の園児の受入可能数を計測し、評価値とする。			130	H24	139	H25	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み	○	144	事後評価	○	
指標2	子育てひろば・ファミリーサポートセンター利用者数	人/年	平成26年9月～平成27年8月の子育てひろば利用者数及びファミリーサポートセンターの利用者数を計測し、評価値とする。			870	H24	2,900	H25	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み	○	5,566	事後評価	○	
指標3										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み			事後評価		
指標4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み			事後評価		
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み			事後評価		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	敷島保育園の整備により、平成27年3月31日現在の園児の受入可能数が平成24年4月1日現在に比べ14人増加し、目標値に達している。なお、保育園の園児受入数は変動がないことから、目標を達成している。	-
指標2	子育てひろば・ファミリーサポートセンターの整備により、平成26年9月～平成27年8月(1年間)の当該施設利用者数は5,566人で、目標値である2,900人を大幅に上回っており、目標を達成している。	事業の繰越に伴い、開園が平成26年9月となったため、利用者数の算出は平成26年9月～平成27年8月までの1年間で集計した。
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度		基準 年度						
その他の 数値指標1							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標2							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標3							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
審議会委員等の住民公募	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	○ 【実施頻度・時期】随時 市政の意思形成過程に市民参加の機会を確保するため、定数の30%を公募により選任する。	各種審議会等の委員の選任に当たっては、公募を行い市民意見の反映に努める
パブリックコメントの実施	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	○ 【実施頻度・時期】随時 市の施策に関する計画の策定過程において、原案を公開し広く市民の意見を募集して最終案を決定する。	市民が市政に関する意見や提言を行うことのできる公聴制度の充実を図る。
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
			i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名：組織の概要	
甲斐市ファミリーサポートセンターの運営	予定どおり実施した	○	生後3ヶ月～小学生の一時的な預かりや、保育施設までの送迎等を行い子育て世代の手助けを行っている。	甲斐市ファミリーサポートセンター：一時預かり等の支援を必要とする人、提供する人は会員登録した市民で、その仲介や費用の助成を市が行い、地域の助け合いによる育児援助を推進している。	広報活動を通して会員の拡大を図るとともに、講習会や交流会を通し、会員同士の親睦を図り地域での援助体制を構築する。
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由)				
	予定どおり実施した				
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由)				
	予定どおり実施した				
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由)				

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
敷島中心拠点地区都市再生整備計画事後評価庁内検討会議	関係各課係長級職員(消防防災対策室、教育総務課、子育て支援課、都市計画課)	第1回:平成28年9月30日 第2回:平成28年10月14日	都市計画課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2					
指標名		保育園の園児数		子育てひろば・ファミリーサポートセンターの利用者数					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	(地域生活基盤施設)敷島地区防災無線 (高次都市施設(地方都市リノベーション事業))(仮称)敷島子育てひろば (地方都市リノベーション推進施設)敷島保育園	◎	敷島保育園の整備により、園児の受け入れ可能数が、130人から144人に増加し、目標を達成した。市役所支所を中心とした中心拠点地区への子育て支援施設の集約化が進み、コンパクトなまちづくりに向けた都市機能の整備が推進されている。	◎	子育てひろば・ファミリーサポートセンター整備により、平成26年9月～平成27年8月の施設利用者数は5,566人となり、目標値を大幅に上回った。敷島保育園と一体として整備する事で、子どもの育児援助や共働き世帯への支援が充実し、中心拠点地区としての魅力が向上している。				
	提案事業	(地域創造支援事業)敷島小学校校舎増築事業		-		-			
関連事業	敷島・双葉地区都市再生整備計画 松島保育園整備事業	-		-					

※指標改善への貢献度

- ◎:事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- :事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △:事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- :事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	子育て支援の充実を図るため、利便性の向上に努める。	近隣の保育園・小学校・中学校と連携し、社会活動支援を充実させ、地域の活性化を図る。
-------	---------------------------	---

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等		実施時期	担当部署
敷島中心拠点地区都市再生整備計画事後評価庁内検討会議	関係各課係長級職員(消防防災対策室、教育総務課、子育て支援課、都市計画課)	第1回:平成28年9月30日 第2回:平成28年10月14日	都市計画課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
都市機能の集約と子育て世代を支援する施設の整備	敷島保育園を旧町役所跡地に整備する事により、公共交通機関などの利便性が高い中心市街地に必要な都市機能の集約が図られた。	今後老朽化が進行する公共施設に関しては、現在策定中の公共施設等総合管理計画による維持管理を行い、経費節減を図りながら都市機能の存続を図っていく必要がある。	—

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	都市機能の維持管理手法の検討	地区内の公共施設について、指定管理者制度等の導入により、民間活力による特色あるまちづくりを推進し、中心市街地の都市機能の充実に図る。	公共施設への指定管理者制度導入の拡大

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	老朽化する都市機能の存続と経費節減	公共施設の長寿命化や集約を図り都市機能の存続に関する経費節減を図る	公共施設等総合管理計画を策定し推進する

・未達成の目標を達成するための改善策
 ・未解決の課題を解消するための改善策
 ・新たに発生した課題に対する改善策

フォローアップ又は次期計画等
 において実施する改善策
 を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

● 交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
● 事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
● 数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
● 数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
● 残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	保育園の園児数	人/年	130	H24	144	H25	確定	○	144	○	あり			
							見込み				なし			
指標2	子育てひろば・ファミリーサポートセンター利用者数	人/年	870	H24	2,900	H25	確定	○	5,566	○	あり			
							見込み				なし			
指標3							確定				あり			
							見込み				なし			
指標4							確定				あり			
							見込み				なし			
指標5							確定				あり			
							見込み				なし			
その他の数値指標1				H			確定							
							見込み							
その他の数値指標2				H			確定							
							見込み							
その他の数値指標3				H			確定							
							見込み							

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	事業が計画通り進み、数値目標を達成した。	数値目標に関しては、子育て支援、社会活動支援を一層充実させ、継続してコンパクトなまちづくりに取り組んでいく必要がある。
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	市民にわかりやすい数値目標を設定し、事業効果を明確に示すことができた。	数値目標の設定にあたっては、目標と数値目標の整合性を十分検討し、幅広い観点から事業の効果を評価できるものとする必要がある。
	うまく いかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	ファミリーサポートセンター制度を生かし、地域住民による子育て支援体制が構築された。	周知方法が広報誌、ホームページ、窓口に限定されているため、自治会単位での説明を行うなど周知方法を工夫する必要がある。
	うまく いかなかった点	市民が市政に参加する機会を明確化するために、パブリックコメント制度や審議会等の委員公募に関する指針を策定したが、パブリックコメントの意見や応募者が少ない。	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	関連事業として位置づけている「敷島・双葉地区都市再生整備計画」から継続して進めてきている事業であるが、必要に応じて内容の見直しを行いながら、適切に事業を実施することができた。	必要な改善点は速やかに改善し、効果的な事業を実施していく必要がある。
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点	地方都市リノベーション事業を活用することにより、コンパクトなまちづくりに資する基盤整備を計画通りに進めることができた。	関連事業の松島保育園整備を推進し、中心市街地の都市機能の充実を図る。
	うまく いかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・都市再生整備計画事業の活用予定
なし

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市ホームページに事後評価原案を掲載	平成28年10月17日～ 平成28年10月31日	平成28年10月17日～ 平成28年10月31日	担当課への郵便、 ファックス、Eメール等	都市計画課
広報掲載・回覧・個別配布	市ホームページおよび都市計画課窓口で原案を公表している旨を広報に掲載	平成28年10月1日発行 広報10月号	平成28年10月17日～ 平成28年10月31日		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	窓口閲覧				

住民の意見	
-------	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	
学識経験のある委員	大山 勲	第1回：平成28年12月1日 第2回：平成29年1月13日	都市計画課	甲斐市都市計画審議会条例（既存機関である甲斐市都市計画審議会がまちづくり交付金評価委員会の要件を満たしているため、評価委員会の役割を兼ねる）	甲斐市都市計画審議会
その他の委員	山口雅典, 雨宮正英, 大沢博光, 上條幹人, 中村己喜雄, 野口賢司, 藤原正夫, 金丸寛, 三浦進吾, 丹澤彦一, 三井兵部, 田中陽子, 赤澤政子, 長坂美津子				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	—
	成果の評価	指標の評価は適切であると判断できる。さらに、設定した数値目標だけでなく、様々な視点から事業の成果を分析し、今後の事業に反映させていく必要がある。
	実施過程の評価	住民参加の機会は設けられているが、住民が主体となったまちづくり活動を一層活発にしていくために、より多くの住民が参加できる機会を設けていく必要がある。
	効果発現要因の整理	整理されている効果発現要因は、妥当であると判断できる。
	事後評価原案の公表の妥当性	事後評価原案の公表は適切に行われているが、住民からの意見がなかった点は改善が望まれる。PRの強化など住民の関心を高める取り組みを強化していく必要がある。
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事後評価の手続きは妥当であると判断できる。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	保育園等の社会基盤整備により、都市機能の集約が進んだ。民間活力による都市機能の充実も推進する必要がある。
	フォローアップ	コンパクトシティの実現に向けて、今後、公共施設等総合管理計画による都市機能の存続に取り組む必要がある。
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	整理されている今後のまちづくり方策は、概ね妥当であると判断できる。
その他		

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
大山 勲(山梨大学生命環境学部地域社会システム学科教授)	平成29年1月27日	都市計画課

有識者の意見	<ul style="list-style-type: none">・事後評価の手続きについては適切である。特にハードとソフト(子育て支援の親身活動)の連携を生み出している点を評価したい。・敷島中心拠点地区の活性化に向けては、市が実施する基盤整備に加え、民間事業等も取り込んだ複合的な都市機能の充実を進め、さらに、住民のまちづくり活動を促進していくことが、コンパクトシティの実現に向けて効果的である。・事業完了後に小・中学校や住民・NPO等と社会活動の連携をさらに進めていくことを期待したい。・さらに、中心拠点地区の形成に向けては、住民・行政協働のまちづくり活動へと展開していくために、ワークショップの開催など積極的な住民参加を導入していくことが望ましい。・今後は、安全性や利便性に加え、景観や快適性を向上させる事業を進めることにより、地域の魅力を一層高める取り組みが望まれる。・事業の評価を行う視点として、目標値による定量的な評価に加え、質的な視点からも評価を実施し、今後の事業に反映させていく必要がある。
--------	---

都市再生整備計画(第2回変更)

しきしまちゆうしんきよてんちく
敷島中心拠点地区
(地方都市リノベーション事業)

やまなしけん か い し
山梨県 甲斐市

平成28年8月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

様式1 目標及び計画期間

都道府県名	山梨県	市町村名	かいし 甲斐市	地区名	しきしまちゆうしほよてんちく 敷島中心拠点地区(地方都市リノベーション事業)	面積	197.0 ha
-------	-----	------	------------	-----	---	----	----------

計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 25 年度
------	---------------------	------	---------------------

目標

- 大目標 人が安心、安全に暮らし、活気あふれるまちづくりの推進
 目標1 安全で快適に暮らせるまちづくり
 目標2 活気にあふれるまちづくり
 目標3 心豊かで文化のかおるまちづくり

目標設定の根拠

都市全体のリノベーション方針(都市構造再編を図るため、都市機能の拡散を防止する等の公的不動産のマネジメントも取り組みを含む)
 平成16年9月1日に三町の合併により誕生した本市は、均衡のとれた発展のため、地域の特性や役割などを考慮し、地域の核となる地区の基盤整備を行っている。
 また、本地区は新市将来構想において、旧町役場を中心に新市の地域核となる重要な役割を担う地域として地域間のバランスや公共施設の適正配置を勘案し、機能整備及び面的整備を進めていく方針が示され、第1次甲斐市総合計画においても、本市の一層の発展に向け都市機能の拡散を抑制し、未利用地の活用や高度利用について総合的な土地利用を検討し、拠点となる地域の整備が主要事業として掲げられている。本地区は、路線バス・高速バス等の営業所(バス停)の交通結節点を中心とした中心拠点区域において市役所支所や市立図書館、都市公園等の都市機能の集積が図られ、西隣に隣接する甲府市と結ばれる県道沿線に立地している既存の商店街は、郊外部への大規模集客施設の立地などによる空洞化が進んでいるが、基盤整備によって公共交通網が完備されたことにより、地域住民の利便性の向上が図られ、地域の再編が進められている状況である。
 都市全体の公的不動産の活用方針として、公共施設の統廃合及び老朽施設の建替え等については、類似施設の合築や市有地を活用した配置計画に基づく整備により、都市機能の拡散防止と既存ストックの有効活用を図り、こうした都市構造の再編により市域全体が将来にわたり持続可能なまちとして維持し続けるコンパクトな市街地の形成を目指す。本地区においては、旧町役場跡地を中心に地域の都市構造再編を図るため、公共交通のアクセスポイントである路線バス、高速バス等の営業所を中心とした地域拠点周辺を「敷島中心拠点地区」として位置付け、敷島保育園については、旧町役場跡地に敷島保育園と(仮称)敷島子育てひろば(子育て世代活動支援センター)を併設した機能の移転配置を行い、公的不動産の有効活用を図る。

まちづくりの経緯及び現況

- 本市は、平成16年9月1日に竜王町、敷島町、双葉町の合併により誕生し、それぞれの庁舎周辺を中心とした市街地から形成されている。
- 第1次甲斐市総合計画(平成18年3月)では、甲斐市の望まれる将来像を「緑と活力あふれる生活快適都市」と掲げ、基本政策として6つのまちづくりの方針を定めている。当該地区については、地域の特性を活かした計画的な土地利用の推進、市庁舎等、多様な地域拠点や地域資源を活かした観光交流拠点の育成、都市基盤整備や防災機能の向上、総合的な生活環境の充実などの方向性が示されている。
- 本市では、これまで、先導的なまちづくりプロジェクトとして、「竜王駅周辺地区」を対象に「まちづくり交付金事業」を活用し、平成16年度から平成20年度まで、竜王駅の橋上駅舎整備や竜王駅南通り線などの周辺道路整備及び竜王駅を中心としたコミュニティバスの試行運転などに取り組んだ。また、引き続き、地域の核となる地区の機能整備や面的な整備を行うため、第1次甲斐市総合計画に位置付けられているJR塩崎駅周辺地域の基盤整備を行い、利便性の向上と安全性の確保及びバリアフリー化に取り組んでいる。
- 当該地区に近接して、新市の新たな拠点である平成20年に供用開始となったJR竜王駅南北自由通路及び橋上駅舎や、平成21年に開設した中央高速自動車道の双葉スマートインターチェンジが整備され、地区内においては平成24年8月に近隣公園の島上条公園が供用開始され、都市機能が備わるまちづくりを推進している。

課題

- 既設の保育施設は、老朽化し、また、公共交通機関などの利便性がよくないため、新たな保育施設整備にあたっては、都市機能の集約に向けた配置の見直しや機能の充実を図っていく必要がある。
- 都市化の進行や核家族化の進展に伴い、まちなかでの子育て世代の交流や文化活動などを支援する施設整備が求められている。

将来ビジョン(中長期)

- 【第1次甲斐市総合計画】(平成18年3月)
 ○「都市機能の充実したまちづくり」を基本政策の一つに掲げ、拠点となる地域の整備、幹線道路の整備促進、市街地整備の推進により、拠点を中心に高度な都市機能が備わるまちづくりを進める。

【甲斐市都市計画マスタープラン】(平成21年3月)

- 市街地では、高齢化等の人口問題や市街地の拡散に対応するため、交通結節点を中心に、医療・福祉、産業などの様々な機能を複合的に配置・集積させるとともに、市街地及び各拠点間を公共交通などにより連結されることで、便利でコンパクトな市街地の形成を目指す。

様式2 整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【都市機能の充実したまちづくりの整備】</p> <p>・本地区においては、地域特性に合った市街地整備を推進し、良好な生活空間の確保を目指した持続可能なコンパクトなまちづくりの展開が求められており、中心拠点区域内において子育て支援施設を整備することにより、地域の拠点形成を図る。</p>	<p>高次都市施設(基幹事業・地方都市リノベーション事業/(仮称)敷島子育てひろば建設事業)</p> <p>地方都市リノベーション推進施設(基幹事業/敷島保育園整備事業)</p>
事業実施における特記事項	
<p>【官民連携事業】</p> <p>※都市再生整備計画区域内で、道路占有特例、河川敷地占有、歩行者経路協定、都市利便増進協定を活用する場合には記載する。</p>	

